

# 六華の心

酒田市立第六中学校  
学校だより 第1号  
校長 加藤 浩昭  
令和5年4月10日

## 「六華の心があふれる学校」に！

### 合い言葉は「思考」と「対話」

4月7日（金）。午前中に新任式と始業式、午後には入学式を行い、本校の令和5年度がスタートしました。（※右は年度初めの職員会議資料より抜粋）

今年度も、開校以来六中が紡いできた「六華の心」を大切にし、またその深化を図り、366名の全校生徒と「六華の心があふれる学校」を目指して、教育活動に取り組んでいきます。

目指す生徒像は「気づき、考え、主体的に行動できる六中生！」としました。日常生活の中で六華の心を実践し、子どもたちの「生きる力」を育てていきます。

そして、今年度のキーワードは「思考」と「対話」です。学校生活の全ての場面で、思考（考えること）と「対話」（しっかりと話し合うこと）を大切にし、子どもたちの感じる心、気づく目、考える頭、行動する勇氣を育てていきます。「生徒同士」、「生徒と教師」、「教師同士」の対話を何よりも大切にし、目指す学校像、目指す生徒像の実現に向け、日々の生活を大切にしていきたいと考えます。



## ■ 1学期始業式【校長の話】 ※2、3年生に向けて話をした内容です。（一部を紹介します）

（前略）年度の初めに当たり、3年生、2年生に期待したいことをお話します。

3年生の皆さん。この4月からはあなた達が「六中の顔」です。3年生の姿が、日々のありようが、そのまま「六中の姿」となります。12日から始まる修学旅行を力を合わせて成功させ、良い1年のスタートを切りましょう。これまで以上に誇れる学校を作り、義務教育最後の1年を充実したものにしてください。そして来年の3月には自分の希望の進路を切り開き、胸を張って六中を卒業するぞ！という気概で頑張ってください。

2年生は、クラス替えがありました。新しい仲間との出会いの春です。今はまだ不安を持っている人もいるかもしれませんが、自分から心を開き、昨年以上に良いクラスを作り、3年生を支え、1年生をリードし、しっかりと学校を支えることができる学年になってください。

※春休み、心に残ったことを隣の人に話す時間を取りました。私は…2つのエピソードと感じたことを紹介しました。

### (1) 駅伝チームの頑張りに感じたこと

○朝早く登校し、頑張る姿に元気もらいました。日々変わる走る姿に、継続することの大切さを学びました。

○5月の本番までまた成長するのが楽しみです。全校生徒ので応援をお願いします。

### (2) 侍ジャパンのWBC 優勝の話題に関連づけて

○苦悩する若き四番村上宗隆選手：自分に向き合い、自分と対話し、思考する姿に「本物」を感じました。

○村上選手に力を発揮させたいと、思考し、対話をする監督、選手、チームスタッフの姿に多くのことを学びました。

○質の高い思考・対話は人や集団・チームが成長し、何かを成し遂げられる最大の要因。侍ジャパンの優勝は、他どのチームよりも思考と対話を大切にしていたから。六中も是非そんな集団に。

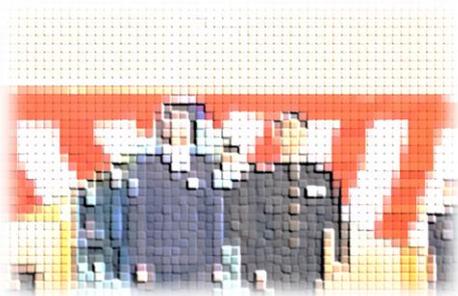
※式の中では、2年生の安食絵麻さんと3年生の今野麻海さんが、学年を代表して抱負を発表してくれました。それぞれに中堅学年、そして「六中の顔」としての最高学年にふさわしい内容でした。

# 118名の新入生を迎え入学式

4年ぶりに在校生も参加した入学式。しっかりと顔を上げ、目を輝かせ式に臨む1年生の姿がとても立派でした。

式の中では、新入生を代表し、佐藤仁菜さんが新生活への意気込みを堂々と発表してくれました。入学式に引き続き行われた生徒会入会式では、生徒会長の菅心緒さんの歓迎の言葉に応え、佐藤奏和さんが仲間入りの言葉を発表し、生徒会入会証を受け取りました。また在校生からは歓迎の合唱「遠い日の歌」が贈られました。

■校長式辞:式辞では以下のような話をしました。要点だけ記載します。



## ○中学校は「自分の夢や希望に近づく場所」

### ○「自分の夢や希望に近づく」ための3つのヒント

#### ① 六中生が大切な伝統として受け継いできた「六華の心」をしっかりと意識し身につける。

←「六華の心」の精神について紹介するとともに、6つの心を大切にし、自分のものにすることが将来、夢を実現し、希望する生き方を実現するための大きな力となること。

#### ② 「思考」と「対話」を常に意識し、実践する。

←何が大切か? もっと良い方法はないか? みんなはどう思っているか...しっかりと考え、行動できる中学生になって欲しい。友だちや家族、先生方との対話を大切に、考える力を伸ばして欲しい。

#### ③ 「挑戦することを怖がらない」

←故野村克也氏の著書から『失敗』と書いて『成長(せいちょう)と読む』という言葉を用い、自分や他者の命や安全に関わる失敗は絶対にあってはいけないこと。一方、小さな失敗を怖がらず挑戦することの大切さ。失敗から学び、何度でもチャレンジする「しなやかなつよさ」は、予測が難しいとされる未来を生きていくために求められること。そのような「しなやかなつよさ」を身につけて欲しい。



写真は入学式・学級開きの一場面です

## 保護者・地域の皆様へ...

始業式、入学式に先立ち、新任式が行われました。11名の教職員が着任いたしました。今年度の校内組織体制と併せ、次号で紹介させていただきます。

暦の関係で、4月3日からの新年度のスタートとなりました。例年に比べて準備期間が短いこともあり、学校生活が軌道に乗るまでご迷惑をおかけすることもあるかもしれません。精一杯努めて参りますが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

「思考」と「対話」。それは、保護者、地域の皆様との関係においても同様です。子どもたちの健やかな成長を念頭に、皆様との対話を大切に参ります。本年度も六中、六中生の応援団として、本校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

### 新学期のコロナ対応

○学校生活の中で、マスク着用は基本的に個人の判断となります。

○但し、学習活動の内容、周りとの距離等を考慮し、マスク着用の協力をお願いする場合があります。

○学校でも指導をしましたが、マスク着用の有無による誹謗中傷等をしないよう、ご家庭でも話し合ってください。

※給食は、当面の間、前向き・黙食を継続します。その他、換気等基本的な対策は継続します。